

Composerの使い方：操作／用例編

| | |
|---|-------|
| Composerの設定（動作環境と操作環境を設定します） | 13 |
| ページの色と背景（テキスト・リンク・背景色・背景画像の設定です） | 14 |
| ページのタイトルとプロパティ（ページのタイトル・作成者・説明の入力です） | 14 |
| 文字の装飾（文字を装飾する基本操作と、文字の大きさを変える時の操作） | 15 |
| 色々な装飾の例（太字・斜体・下線・取り消し線・上付き・下付き・固定幅・改行なし・他） | 16 |
| 書式ツールバーのアイコンと説明（小さく・大きく・太字・斜体・下線・行頭文字・行頭番号・インデント） | 16 |
| 書式ツールバーのアイコンと説明（左寄せ・中央寄せ・右寄せ・均等割り付け） | 17 |
| 編集モードの切り替え（編集モードツールバー） | 17 |
| ページに画像を使う（画像の挿入・ツールチップ・代替テキスト・画像のプレビュー） | 18 |
| 画像のプロパティ（場所(URL)タブ/寸法タブ/表示タブ/リンクタブ） | 19 |
| リンク（ページ間のリンク(相対)／外部サイトへのリンク(絶対)／ファイルタイプ） | 20 |
| アンカーとリンク（ページ内のリンクで使うアンカーの挿入方法と、リンクからアンカーを指定する） | 21 |
| 横罫線（横一直線の罫線を引く／罫線の色指定(オマケ)） | 22 |
| 表の挿入（表を挿入します） | 22 |
| 表のプロパティ（セルタブ／表タブ／詳細設定からできる簡単な追加機能） | 23 |
| 表の具体的な使い方 | 24-25 |
| セルの結合（表のセルを結合します／表のセルに色を指定します） | 26 |
| セルサイズ変更と表の中の配置（表の中に画像を挿入し、画像に合わせてセルの幅を合わせます） | 27 |
| 表を使った整形（画像を挿入、画像周辺の文字配置、画像の余白、セルに背景色、枠線を消す） | 28-29 |
| ソースの埋め込み(カウンター・解析・ティッカー・WEBリング・アフィリエイト・・・など) | 30 |
| ページをブラウズする(ブラウザで編集集中のページを表示してみる) | 30 |

Composer の設定（使う前に各自に合わせカスタマイズ）

Composerの動作環境・操作環境を設定します。 [メニューバー](#) > [編集](#) > [設定](#)

設定 Composer

<最近使用したページメニュー>

ページの履歴数を決めます

<ページを保存、出版するとき>

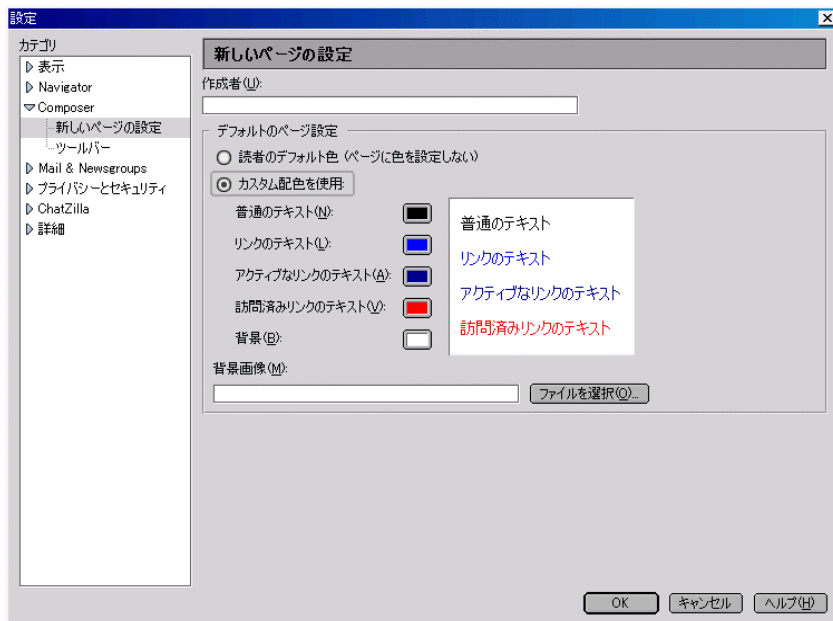
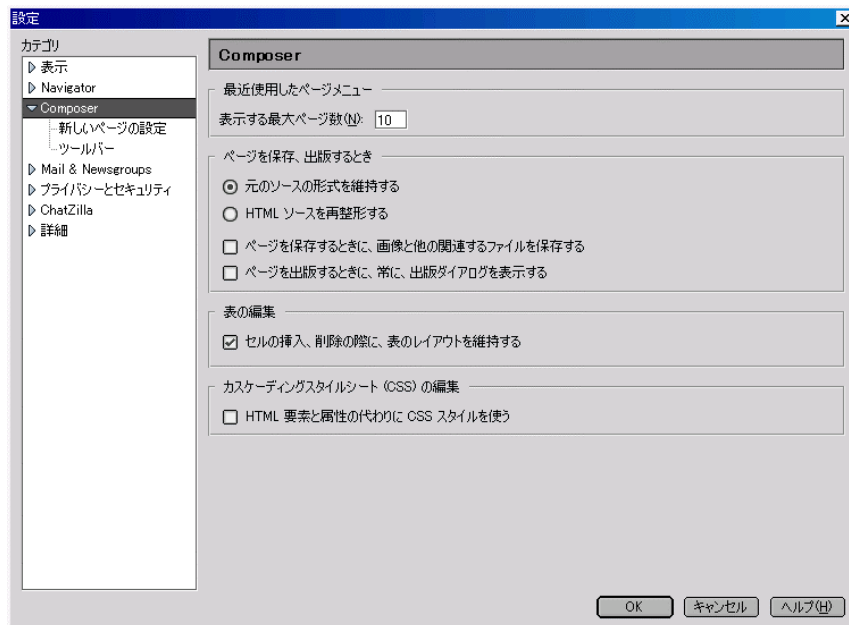
・HTMLソースを維持するか、自動で再整形するかを選択です。
・WEBページをNavigatorからComposerへ取り込んだ時、画像・CSS・jsなどを一緒に保存するか、HTMLのみで保存するかを選択です。
・ページを出版するときにFTP設定の出版ダイアログを表示するかしないか。

<表の編集>

セルの行・列を削除挿入した時に表の体裁を維持するかしないか。

<CSSの編集>

チェックする＝CSSモードになります
チェックしない＝通常のHTMLモード



新しいページの設定

ページのタイトルとプロパティ、ページの色と背景で設定する基本情報の内、ページ毎の共通部分を予め設定しておくことができます。

<作成者>

ページの作成者の名前を入力します

<デフォルトのページ設定>

閲覧者の指定するページ・文字・リンク色を表示させる(色指定無し)か、ページ毎に共通した色のテーマがある場合はカスタム色から予め指定しておくことができます。

ここで予め指定した情報は新しいページを作成する時に最初から適用されます。

ツールバー

ボタン類のComposer上部に表示させるツールの表示・非表示を決めます

<構成ツールバー>

-推奨-

新規作成/開く/保存/画像/横罫線/表/リンク/アンカー/(必要なら 切り取り/コピー/貼り付け)

-要らないかも-

出版/ブラウズ/印刷/検索

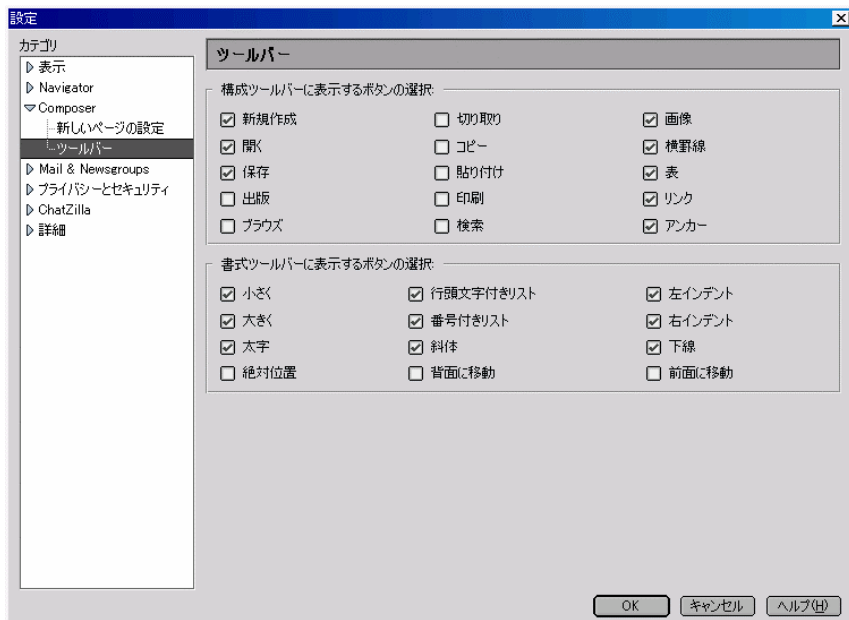
<書式ツールバー>

-HTMLモード推奨-

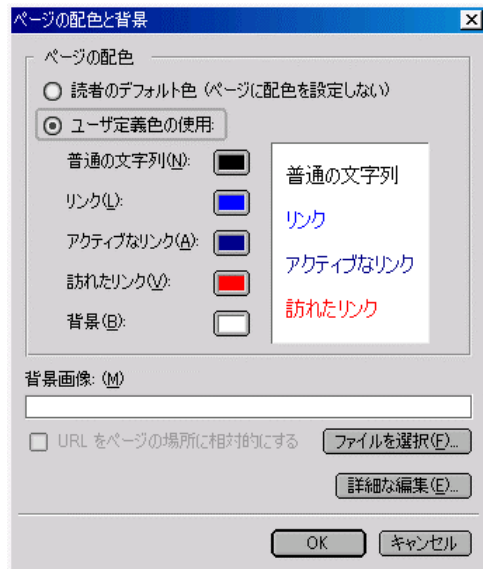
太字/行頭文字付きリスト/番号付きリスト/斜体/右インデント/左インデント/下線

-CSS限定-

絶対位置/背面に移動/前面に移動
文字の背景色(マーカー)



ページの色と背景



基本的なページ内の配色と背景画像の選択

- ページの配色
- 読者のデフォルト色 (ページに配色を指定しない)
 - ユーザー定義色の使用 (ユーザーが配色を指定)
 - 普通の文字列 (通常のテキスト色)
 - リンク (未訪問の文字色)
 - アクティブなリンク (今クリックしたリンクの色)
 - 訪れたリンク (訪問済みのリンク色)
 - 背景 (ページの背景色)

背景画像



「ファイルを選択」をクリックするといつもの画面



ダイアログボックス(配色) 文字/背景

色を選択する場合は全てこのダイアログボックスが表示されます。上半分のパレットをクリックして既成の色を選択できます。

自分で微妙な色合いを作るには下段の に #RRGGBB で指定します。文字色・背景色共に、最後に選んだ色・作成した色を記憶していますので、二回目以降は最後に選んだ色をクリックすると、その色が適用されます。

<#RRGGBB とは>

頭に#をつけて 赤(16進数2桁) 緑(16進数2桁) 青(16進数2桁) という意味になります。

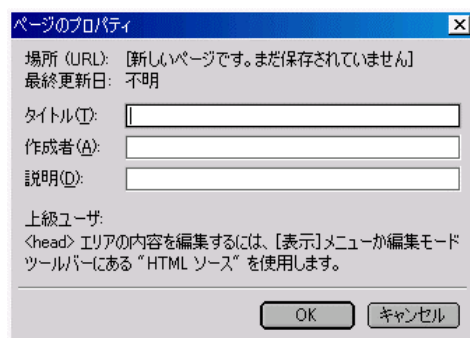
<16進数とは>

10進数は数字0123456789で現します。これは私たちが普通に使っている数字です。

16進数は数字0123456789とアルファベットのA~Fで現します。0~Fが0~16に相当します。これが16進数です。16(F)を超えると17は10です。0~255の256段階が00~FFに相当します。00に近いほど暗く、FFに近いほど明るくなります。この00~FFをRGB (Red + Green + Blue) で組み合わせます。青は0000FF 赤はFF0000 緑は00FF00 です。組み合わせると黄色は赤と緑の混合色なのでFFFF00です。実際には #ffffff と半角小文字で指定します。アルファベットは大文字でも構いませんが、全て半角でなければなりません。

ページのタイトルとプロパティ

重要です



新規ページを作成したら、まず最初に設定する項目です。これを入力しましたら、一旦任意の場所にページを保存してください。画像やリンクの挿入の際に保存をしていないと参照先の相対パスが長くなり過ぎて困った事になります。転送してしまえば後の問題はありますが、編集がやりづらいです。

<タイトル>

このページのタイトルです。入力するまではタイトルバーは[無題]ですが、ページの名前が付けられるとタイトルバーもページ名が出ます。また、このタイトルはブックマーク(お気に入り)した時の名前にもなります。(重要)

<作成者>

自分の名前やニックネーム、ハンドルネームなどご自由にどうぞ。

<説明>

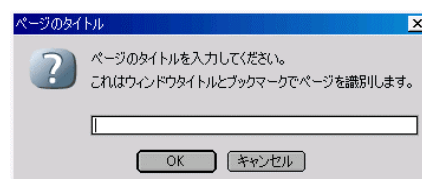
ホームページの説明です。カンマ“, ”で区切ってページの内容を入れてください。

ページの保存



半角英数+拡張子 (html もしくは htm) で保存します

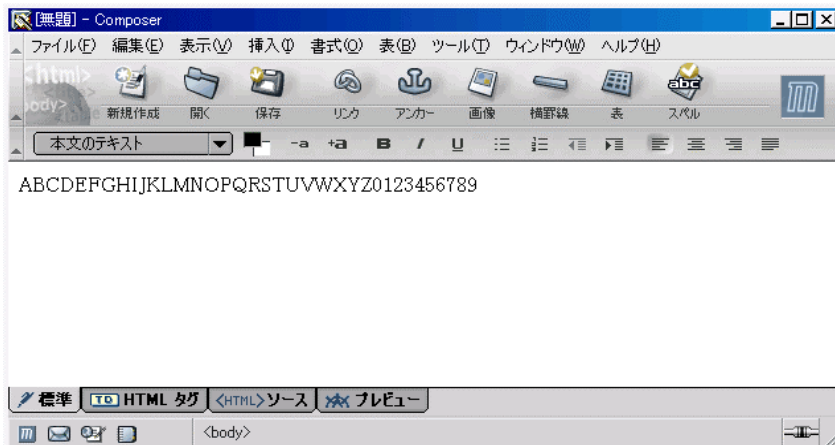
トップページは index.html または index.htm です。拡張子を指定しない場合は自動的に html という拡張子になります。



ページのタイトルとプロパティを入力しないとこのウィンドウが出ます。上の項目を必ず済ませてください。ファイル名には日本語を使わないで下さい。全角文字も使わないでください。

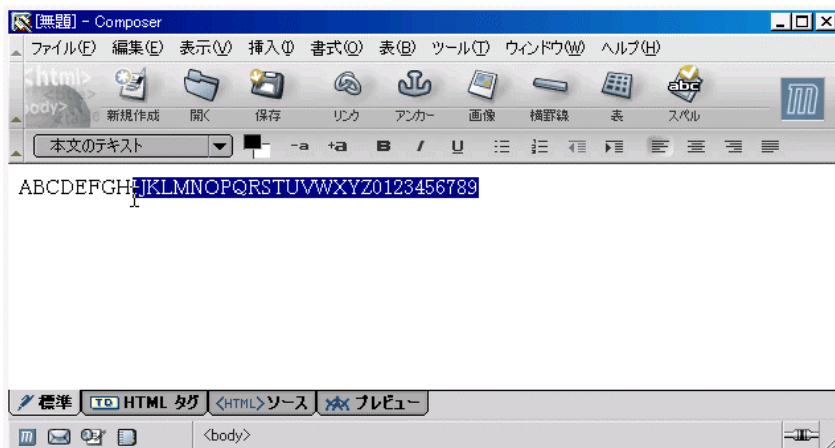
文字の装飾

文字を装飾する場合の基本操作です。全ての装飾は以下のように **入力>ドラッグ>装飾を選択** のようにします。



1. 文字を入力する

カーソル | の所に打てます。

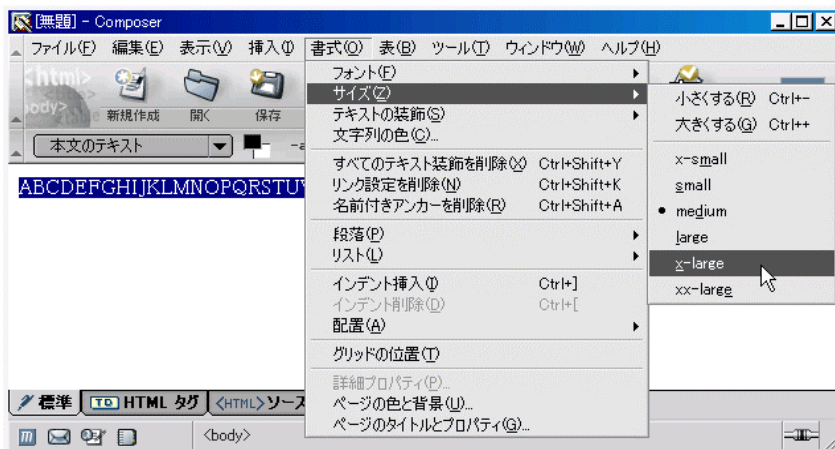


2. 入力した文字をドラッグ

※装飾を掛けたい所を選択

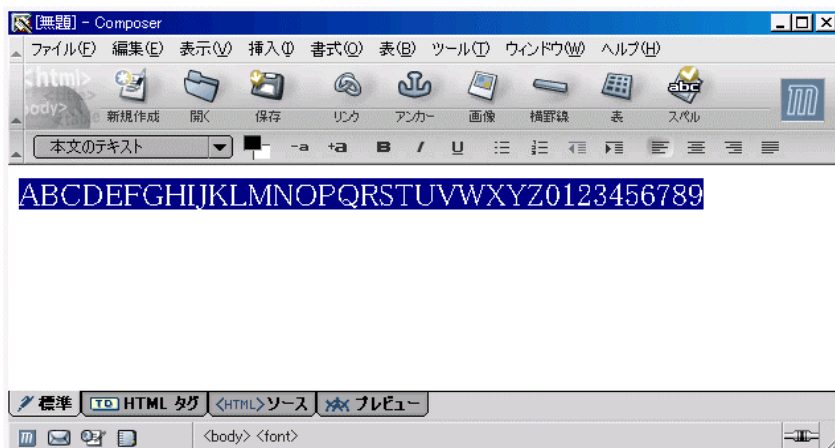
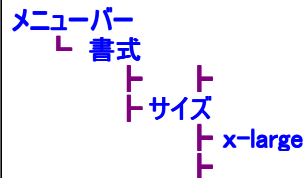


※左クリックを押しながらなぞる



3. ドラッグした文字を装飾

※操作は文字サイズを大きくする場合の例



文字が大きくなりました

同様に、書式ツールバーの太字／斜体／下線／テキスト色の変更や、メニューバー[書式]の[テキストの装飾]などを使います。

メニューバー > 書式 > テキストの装飾

標準 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお

| | | |
|--------|---|--|
| 太字 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 斜体 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 下線 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 取り消し線 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 上付き | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 下付き | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 固定幅 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 改行なし | ⇒ | 改行したくないテキストを指定すると、どんなに横に長くても改行しなくなります |
| 強調 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 強い強調 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 引用 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 略語 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| 頭文字略語 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |
| コード | ⇒ | 0123456789 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ABCSDFG あいうえお |
| サンプル出力 | ⇒ | 0123456789 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ABCSDFG あいうえお |
| 変数 | ⇒ | 0123456789 0123456789 ABCSDFG あいうえお |

単調なテキストに装飾をしてメリハリを付けるだけでも見栄えがグッと良くなります

書式ツールバー

本文のテキスト
-a +a B I U

-a

小さく

A A A A A

ブラウザによってサイズが違い過ぎ(使わない)

+a

大きく

A A A A A

ブラウザによってサイズが違い過ぎ(使わない)

B

太字

0123456789 ABCDEFG ⇒ 0123456789 ABCDEFG

I

斜体

0123456789 ABCDEFG ⇒ 0123456789 ABCDEFG

U

下線

0123456789 ABCDEFG ⇒ 0123456789 ABCDEFG

↑ 自由に組み合わせ可能

⇒ 0123456789 ABCDEFG

≡

行頭文字
付きリスト

ABCDEFGHIJKLMN
1234567890
あいうえおかきくけこ

⇒

・ABCDEFGHIJKLMN
・1234567890
・あいうえおかきくけこ

ドラッグ位置を右に少し移動し行頭に”・”を付ける箇条書きタイプのリスト

≡

行頭番号
付きリスト

ABCDEFGHIJKLMN
1234567890
あいうえおかきくけこ

⇒

1 ABCDEFGHIJKLMN
2 1234567890
3 あいうえおかきくけこ

ドラッグ位置を右に少し移動して行頭に連続番号(数字)を付けるリスト

≡

左インデント

アイウエオカキクケコ
ABCDEFGHIJKLMN
1234567890
あいうえおかきくけこ

⇒

アイウエオカキクケコ
ABCDEFGHIJKLMN
1234567890
あいうえおかきくけこ

右インデントされた部分を左側に戻す

≡

右インデント

アイウエオカキクケコ
ABCDEFGHIJKLMN
1234567890
あいうえおかきくけこ

⇒

アイウエオカキクケコ
ABCDEFGHIJKLMN
1234567890
あいうえおかきくけこ

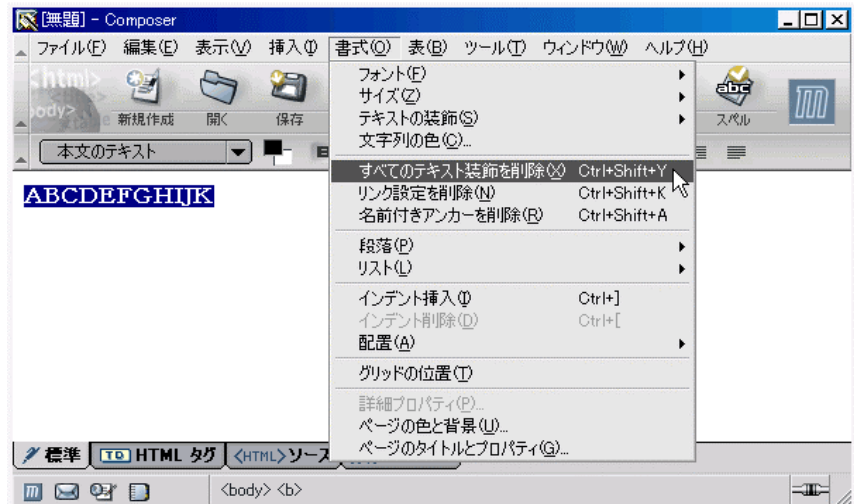
ドラッグ位置を右インデントする。何度でもできる

※ドラッグ位置を表す

| | | | | |
|---|------|--------------------------|---|--------------------------|
| ≡ | 左寄せ | あああああああ ABCDEFGHJKLMN | ⇒ | あああああああ ABCDEFGHJKLMN |
| ≡ | 中央寄せ | あああああああ ABCDEFGHIJK | ⇒ | あああああああ ABCDEFGHIJK |
| ≡ | 右寄せ | あああああああ ABCDEFGHIJK | ⇒ | あああああああ ABCDEFGHIJK |
| ≡ | 均等割付 | あいうえお | ⇒ | あ い う え お ※機能せず |

装飾の解除(削除)

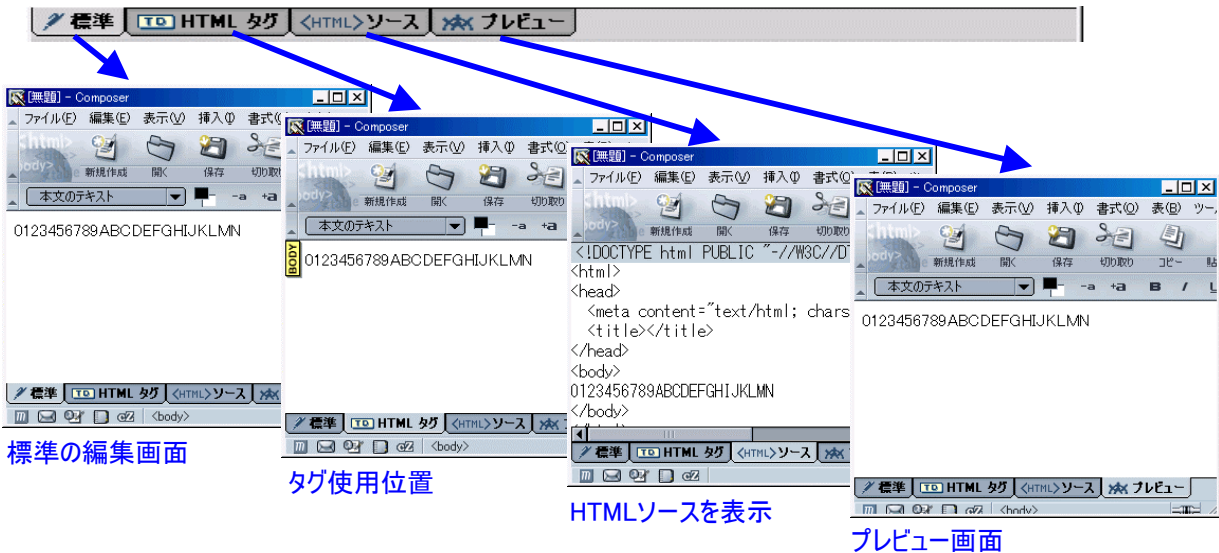
太字・斜体・下線/取り消し線などを含むテキストの装飾を一切解除します。



解除したい場所をドラッグして **メニューバー > 書式 > すべてのテキスト装飾を削除**

編集方法の切替(編集モードツールバー)

ページの編集モードを選択します。通常は[標準]で良いでしょう。[HTMLタグ]は殆ど使用しません。[HTMLソース]はタグを必要に応じて埋め込んだり、スタイルの編集や挿入に使用します。また、HTMLソースから入力することが可能な方は[HTMLソース]をメインに。実際の表示状態の確認に[プレビュー]を使ってはどうでしょう。[標準]で罫線(枠線)をOピクセル指定した場合、[標準]では赤い破線で表示されますが、プレビューでは表示されません。適宜表示を変えて試してみましょう。



標準の編集画面

タグ使用位置

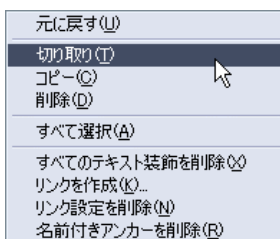
HTMLソースを表示

プレビュー画面

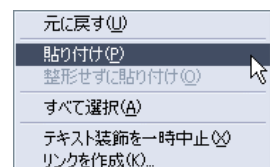
文字や画像の切り貼りやコピー (カット&ペースト と コピー&ペースト)



文字をドラッグしたり、画像をクリックして選択したものを切り取って別の場所に貼り付けたり、コピーして複製を貼り付けることができます。

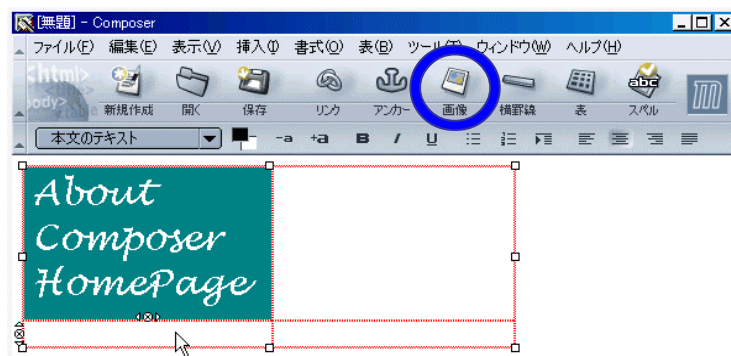


ツールバーをワザワザ使わなくても、対象を右クリックした場合にメニューが出ますので、ここから選択もできます。
編集画面では左図のように元に戻す/切り取り/コピー/削除/すべて選択/すべての装飾を削除/リンクを作成/リンク設定を削除/名前付きアンカーを削除 が使えます。



切り取り/コピーを行った後には右クリックでこのメニューが出ます。

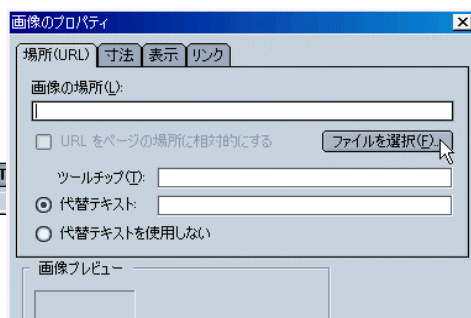
画像を挿入する



画像を挿入したい場所にカーソルを置きます。

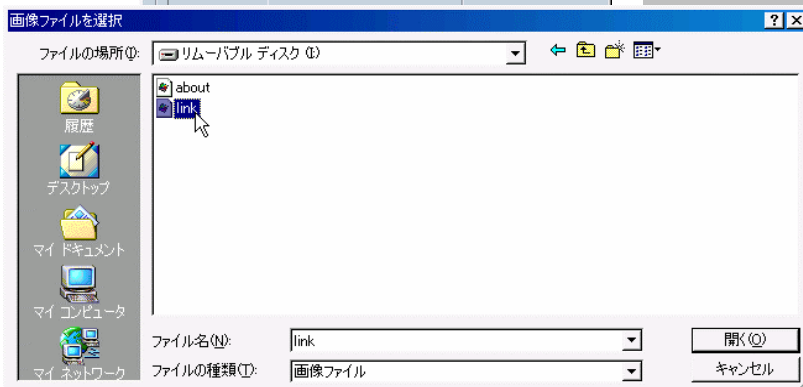
| が点滅している所に画像が入ります。

直接挿入しても良いですし、表の中へも挿入できます。



ツールバーの画像  をクリックするか、

メニューバー>挿入>画像 にて左図のウィンドウが表示されます。
画像をファイルから指定する場合は**[ファイルを選択]**をクリックします。



画像ファイルを選びます。

挿入できるファイルは

JPEG/JPG
GIF/PNG

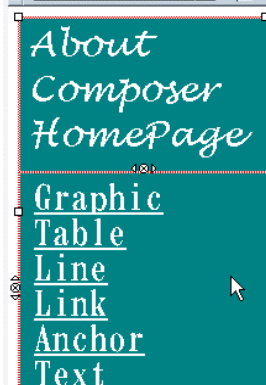
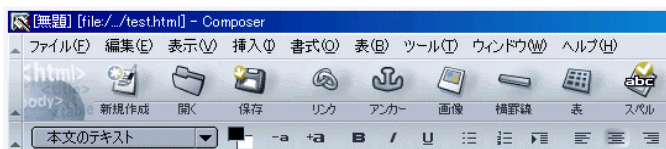
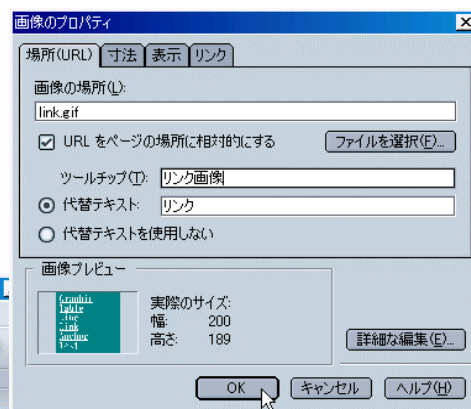
です。
BMPは指定できません。

クリックして**[開く]**をクリックするか、ダブルクリックで選択できます。

[画像の場所] にファイル名が入りました。

□URLをページの場所に相対的にする

※これは、同じホームページスペース内のフォルダに入っているファイルが対象になります。相対パスという意味です。画像を外部のサイトから貼り付ける場合は、このファイルの部分がURLになります。URLを使った場合はこのチェックが外れます。外れない場合は外してください。



[ツールチップ] は画像にポインタを重ねた時に出るコメントです。

[代替テキスト] はページの画像を読み込まない設定の人の場合、画像の部分が四角く枠が入り、そこにテキスト(文章/コメント)が入ります。

[画像プレビュー] と実際のサイズは、選択した画像ファイルのプレビューです。

[OK] を押すと左図のように画像が挿入されます。

場所(URL) タブ



画像の挿入をする際、まず、一番最初に表示される状態です。初めは画像のファイルが置かれているフォルダを開きます。

【**ファイルを選択**】をクリックし、挿入したいファイルの入ったフォルダを探して画像ファイルをダブルクリックまたは、クリックして選択された状態で【**開く**】をクリックします。画像の場所にファイル名が、下段の画像プレビューに縮小表示された画像のサムネイルが表示されます。

【**ツールチップ**】はブラウザで画像にマウスオンさせた時に表示されるコメントです。

【**代替テキスト**】は、画像を表示しない設定もしくは画像が読み込まれなかった時に表示される文字列です。使用しないを選んでも構いませんが、なるべく入れるようにしましょう。

寸法 タブ



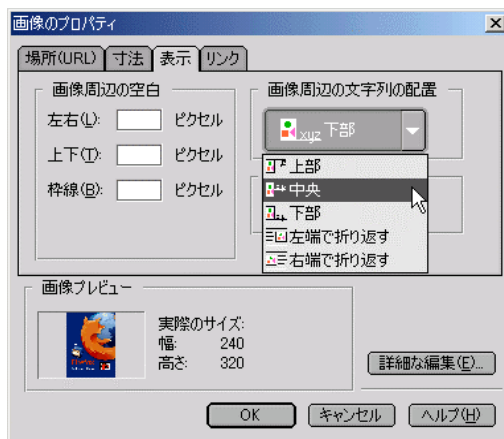
このタブでは、原寸(実際のサイズ)で表示するか、表示サイズを強制的に変更して表示するかを選択できます。

普段は予め縮小しておいた画像を使った方がブラウザ画面をスクロールさせた時にスムーズに流れます。

強制的に表示サイズを変更したものを多用すると見辛くなりますし、スクロールがギクシャクしてしまいます。

また、写真を紹介するページを作る際は、オリジナルの写真を無理やり小さく表示して並べるのはやめたほうが良いと思います。ブロードバンドユーザーであればサクサク読めますが、ナローバンド(低速回線)のユーザーは読み込みに時間が掛かってしまい、途中で見る気を失います。サムネイルとして利用するのはお勧めしません。

表示 タブ



ここでは左右上下の余白(ピクセル単位)、枠線の太さ、**画像周辺のテキスト表示位置**を決めます。

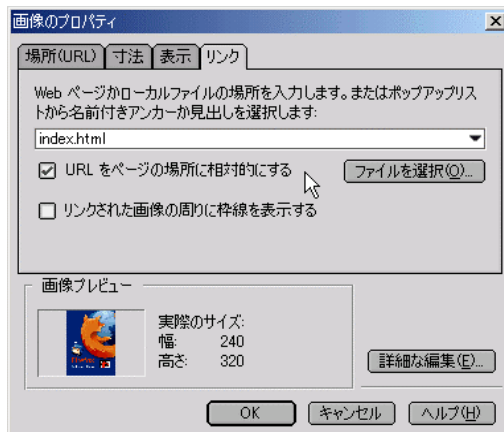
左右上下は画像の余白部分です。枠線は、画像にリンクである事を強調する際に使う枠線の太さです。色はリンク色になります。リンクの色を指定しても編集集中は基本色の青として表示されますが、実際にブラウザで表示すると指定した色になります。

画像の表示位置はテキストに対して**上中下**のいずれかと、画像にテキスト(文章)が沿うように表示される方法が選べます。**上中下**はアイコンの通りです。

【**左端で折り返す**】これは画像が右側。文章が左側を沿うように入り込みます。

【**右端で折り返す**】これはさっきの逆です。写真が左で、テキストが右側を沿うように入り込みます。

リンク タブ



画像にリンクを付けます。リンクをつけた画像はクリックするとリンク先のHTMLファイルや画像ファイル、マルチメディアファイル、圧縮ファイルなどリンク先のファイルを読み込み、表示したり、ダウンロードしたり、演奏したり、映像が流れたり...


リンクはファイルに対して行う場合と、別のサイトのページに飛ばすリンクがあります。外部サイトの場合は、URLを貼り付けてください。Mozilla 1.6以降、Netscape 7.1では入力欄にドラッグ&ドロップできます。

同一ページ内の任意の場所へ飛ぶにはアンカーを入力欄の▼をクリックしてアンカーの一覧を表示し、クリックで選びます。別のページの任意のアンカーへ飛ばすには、リンク先のページのURLに続いて**#アンカー名**と入力します。

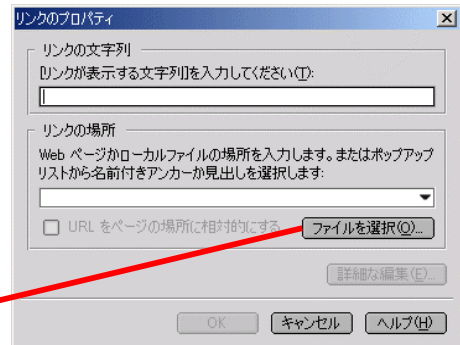
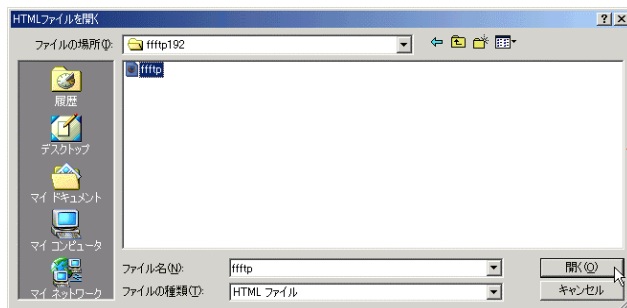
例: <http://www.nantoka.jp/kantoka.html> #Anchor

リンク（ページ間のリンク/外部サイトへのリンク/ファイルへのリンク）

ページ間のリンク（相対パス）

カーソル位置に直接リンクを挿入する場合は、リンクを張りたい場所でカーソルを点滅させ、リンクボタン  をクリックします。

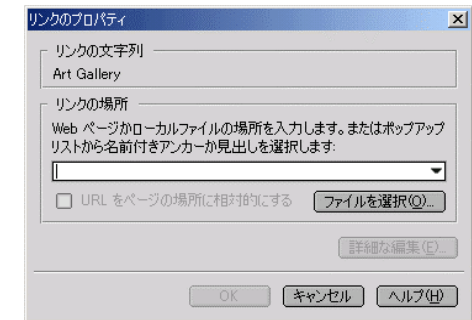
右のウィンドウはリンクにしたいテキスト（文字列）を入力していますので、上段の欄にリンクのテキストを、下段は「ファイルを選択」をクリックし、リンクしたいHTMLファイルを選択してください。



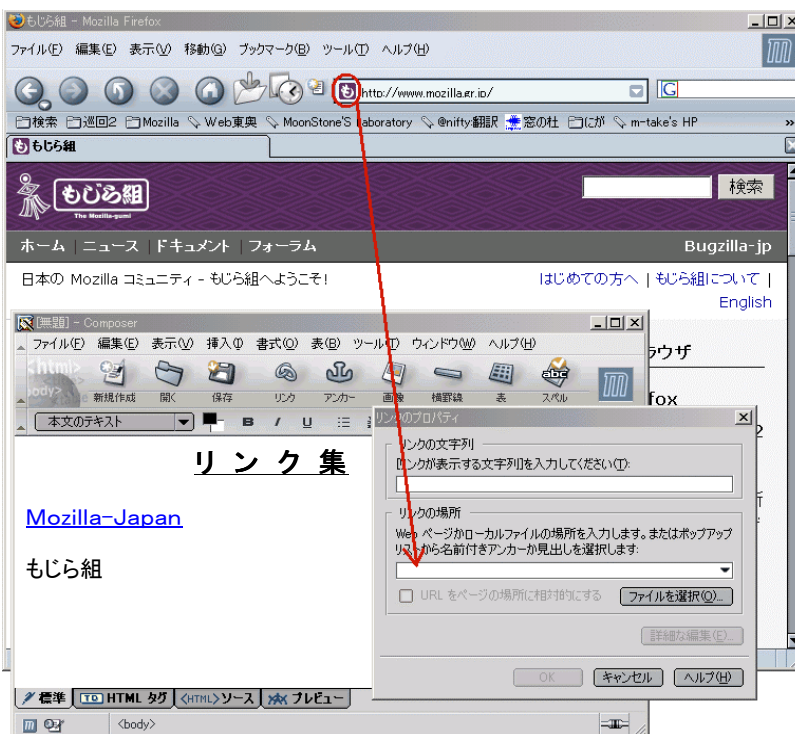
右のウィンドウはリンクを付けたい「Art Gallery」という文字列をドラッグした時のもの。リンクの文字列に「Art Gallery」と入りました。

通常は文章やリンクとなる文字列を最初に打ってしまってから後でページ毎にリンクする方が楽です。

上記と同様にファイルに対して行うリンクは「ファイルを選択」からどうぞ。



外部サイトへのリンク（絶対パス）



友達のホームページへのリンク集や、文章中に出てくる注釈にリンクを付ける場合に参考となる外部サイト。また、レンタルCGIで自分のホームページ外へのリンクを行う場合は、URLを貼り付けます。

左図の画面はFirefoxで表示したもじら組のサイトをリンクしたい場合の例です。URLの先頭のアイコンを左クリックで掴んで「リンクの場所」へ放り込むことが可能です。

もちろん、コピーして貼り付けても結構です。古いコンポーザーではこれができない事がありますので、最新版のMozillaを入手してください。

URLが「リンクの場所」に入るとOKをクリックできるようになります。

ファイルへのリンク（ページ、サイト以外のリンク）

| ファイル タイプ | 動 作 | 拡 張 子 |
|-----------|----------------------|----------------------------|
| 画像ファイル | 表示します | JPEG/GIF/PNG |
| FLASHファイル | プラグインがあれば再生します | SMF |
| ムービーファイル | プラグインまたは関連付けで再生 | AVI/WMV/MPEG/ASF など |
| MIDIファイル | 関連付けされたプレイヤーで再生 | MID |
| 音声ファイル | プラグインまたは関連付けで再生 | WAV/AIFF/MP3/M3U/WMA など |
| 圧縮ファイル | ダウンロードまたは関連付けで解凍 | LHZ/ZIP/CAB/TGZ/ARJ/RAR など |
| CGI/PHPなど | ホストに転送されていれば実行 | CGI/SSI/PHP など |
| テキストファイル | 表示します | TXT/DOC など |
| PDFファイル | AdobeReaderインストールで表示 | PDF |

アンカー と リンク

ページ内リンクに使ったり、アンカーのある場所に別のページから飛ぶことができます。

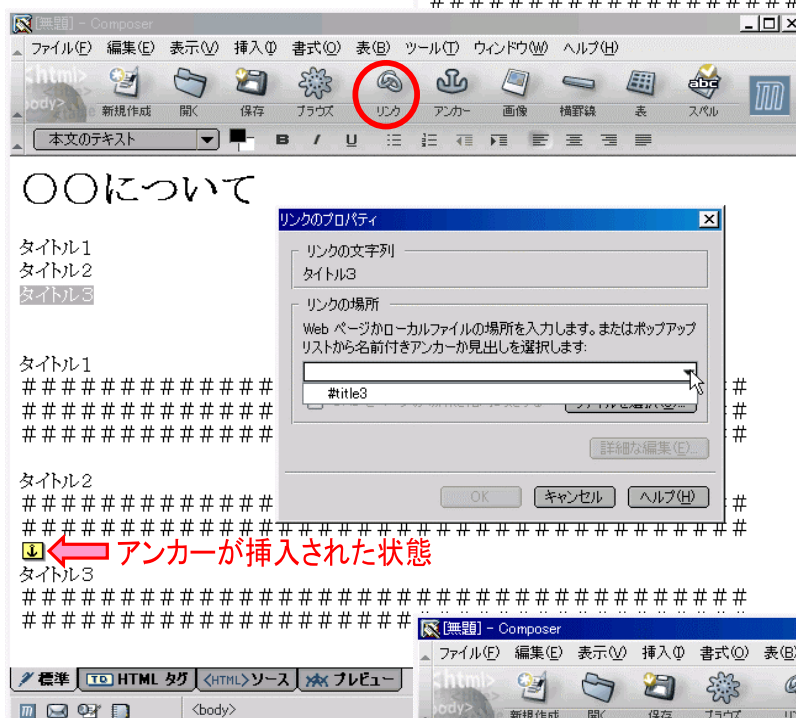
ページ内で使われるのは縦に長いページなどで、先頭のリンクからアンカーのあるページの中間や後半にリンクすることで働きます。

右の図にある「タイトル3」の上の目次部分から、文章のある「タイトル3」へリンクする方法を説明します。

まず、下の「タイトル3」の一行上にアンカーを挿入します。

カーソルを矢印の部分に置いて、アンカーをクリックします。

URLで飛ぶ場合も考えて[英数半角]でアンカー名を入力してOKをクリックします。



次に、目次部分の「タイトル3」をドラッグして、リンクをクリックします。

リンクの場所がプルダウンメニューになっています。その中に、先ほど挿入したアンカーがありますので、それをクリックで選択してOKをクリックします。

ここに表示されるアンカーの一覧は、編集集中のページの中にあるアンカーの一覧ですので、他のページのアンカーを呼び出すには

HTMLファイル名 + #アンカー名

と、なります。

他のページから「タイトル3」の本文に飛ぶには...

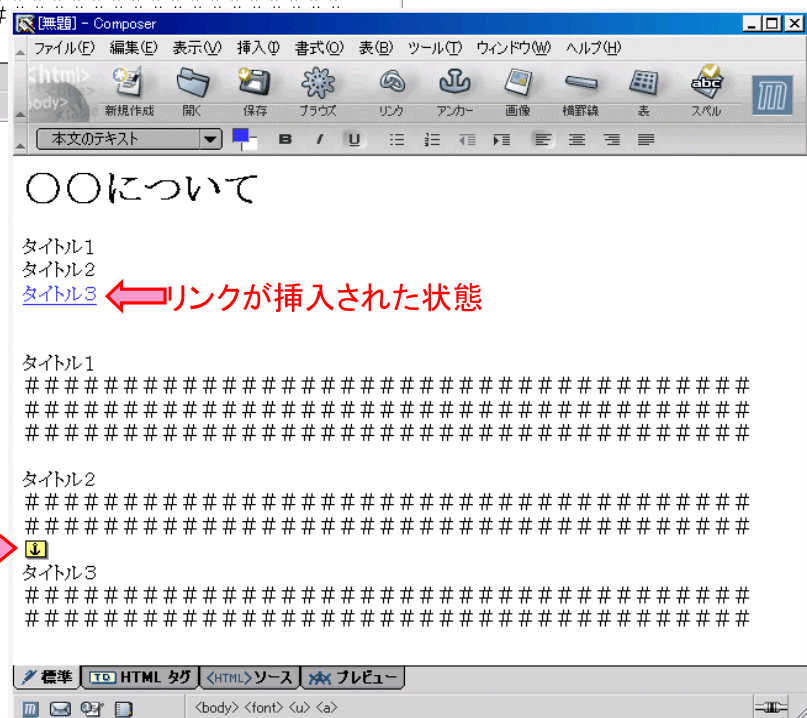
例:

このページのファイル名 =
setumei.html

このアンカーの名前 = #title3

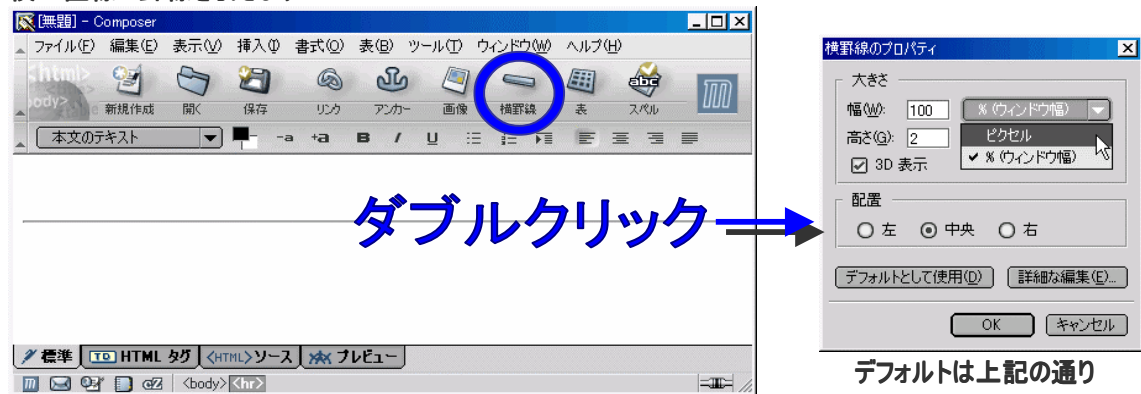
場所 = setumei.html#title3

[タイトル3]をクリックすると、
ここにページが移動する



表示させたい部分にアンカーを挿入して、リンクでアンカーを拾うという作業になります。

横一直線の罫線を引きます



区切り線に使うのがいいでしょう。

最初は横100%／高さ2ピクセル／3D表示／中央配置になっています。

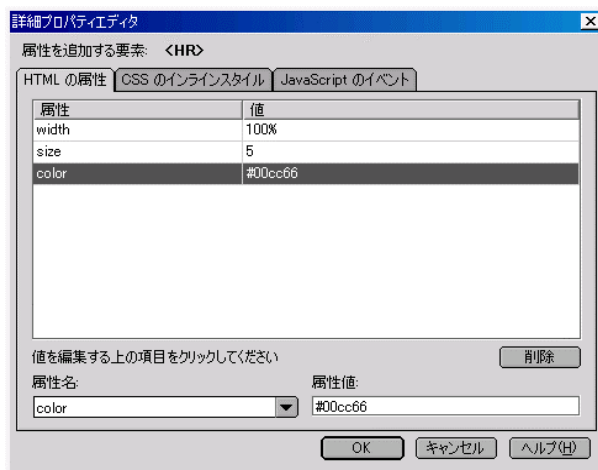
幅の100を%からピクセルに変えると横100ピクセルになります。

3D表示のチェックを外すと塗りつぶしタイプになります。

デフォルトの高さが2ピクセルしか無いので、慣れない人はクリックしづらいかも知れません。

最初にプロパティを開いた時に高さを4～5ピクセルにしてから「デフォルトとして使用」をクリックしておくとも良いかも知れません。

ちょっとだけ「詳細な編集」の機能



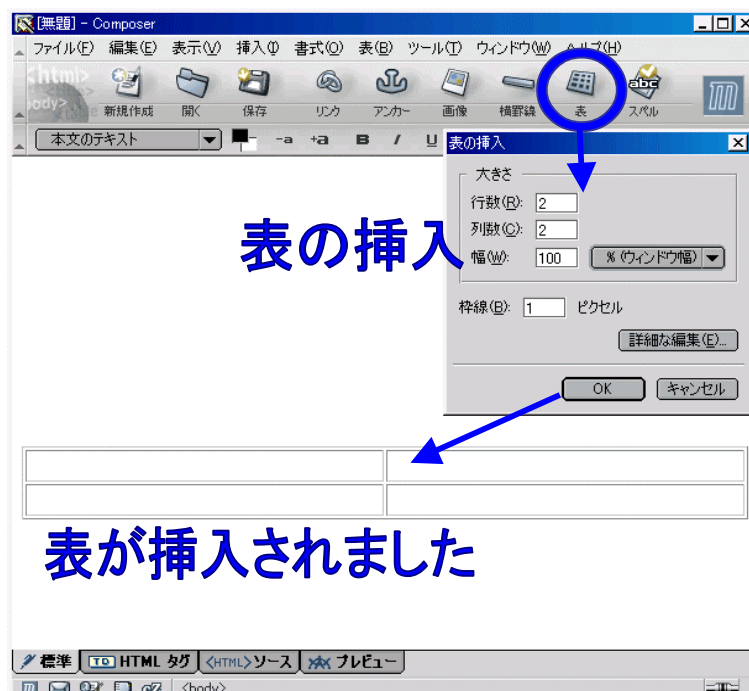
罫線に色が欲しいと思ったら、Composerではマウスだけでそれを行うことができませんでした。しかし、操作自体は凄く簡単なのでここで説明したいと思います。

属性名に **color** を入力。属性値にカーソルを置くと属性に color が追加されます。続いて属性値に #RRGGBB(色) を指定してください。そしてOKをクリックして詳細プロパティエディタを終了し、横罫線のプロパティもOKで閉じます。

例えば色を緑にしたい場合は #00FF00 等とすると罫線は緑色になります。色の作成に関しては 11 ページを参照ください。

表

表の挿入



最初に挿入する際のウィンドウは行数(縦方向)と列数(横方向)のセル(マス目)の数。

それと表の幅(%かピクセルか選択)や表の枠線(罫線)の太さです。

目的に応じてこの時点である程度の指定を行います。

行数と列数は0を指定できませんが、枠線は0ピクセルに指定する事が可能です。

枠線を0ピクセルにすると標準モードでは赤い破線で表が表示されていますが、プレビューモードと実際にブラウザで表示した場合には表の罫線が消えます。

つまり、表の機能を使って複数のテキストや画像を配置し、実際には表示しないという事が可能です。この手法は見えないけど多数のサイトで効率よく利用されています。

表のプロパティ

CSSを使わずに異なるブラウザ間で同じ表示位置をキープさせることができるのが表です。普通に表として使用するだけがこの機能の使い方ではありません。表によって縦/横のサイズを厳密に決め、表の枠線(罫線)を表示させなければ、表は存在してもブラウザで表示した際に見えなくすることが出来るのです。挿入はテキストやリンク等の他に画像等も挿入できます。

最大の利点は、ブラウザによって表現が殆ど変わらないこと。ピクセル単位で正確に配置することで相手のネット環境に左右されないホームページの表現が可能となります。

表のプロパティ

いちいちOKをクリックして選択し直さなくても、プロパティ上から選択セルを移動できます。

セルの高さ(ピクセル)と幅(ピクセルと%)を指定する事ができます。中身のテキストや画像が指定より大きければそちらに合われます。
□のチェックは選択範囲全てに適用するスイッチです。

セルの背景色を指定します。カラーダイアログボックスが表示されます。

100+%で、ブラウザの表示範囲の100%表示です。相手のパソコンの画面サイズによって伸縮します。
100+ピクセルで、表の外側の枠線の最大幅が100ピクセルという意味です。強制的に表の横幅を指定します。

後から強制的に行数/列数を変更できます。数字を小さくすると後方のセルが削除される形になりますが、事前に削除しても良いか確認が出ます。

後から強制的に行数/列数を変更できます。数字を小さくすると後方のセルが削除される形になりますが、事前に削除しても良いか確認が出ます。

表の背景色を決めます。これは、カーソルが何処にあっても表内の背景色が一色に塗りつぶされます。塗りつぶされる範囲は一番外側の枠線より内側全部が塗りつぶされます。

表に題名を挿入します。通常は無し。無し/表の上/表の下/表の左/表の右 この中から選びます。選択してプロパティを閉じると題名が表に沿って入力できるように隙間ができています。

セルの中での配置(表示位置)を指定します。
Excelのセル内の表示位置の指定と概念は全く同じです。
複数をまとめてドラッグした場合は□にチェックが入ります。

改行を「する/しない」を設定できます。通常は自動改行で「折り返し」になっています。

セル(TDタグ)の詳細設定です。

枠線(外側の線)をピクセル指定。
1ピクセル以上で表示される表。
0ピクセルで見えない表になります。

セルの間隔(セルとセルの間の隙間)をピクセル指定。
セルの余白(セルの内側の中心に向かっての余白)をピクセル指定。

表(Tableタグ)の詳細設定です。

<TABLE>タグから選択できるチョット便利な属性

属性名:属性値

frame 外枠の表示形式

(void:無し/above:上/below:下/hsides:上下/visdes:左右/lhs:左/rhs:右/box:全部/border:縁取)

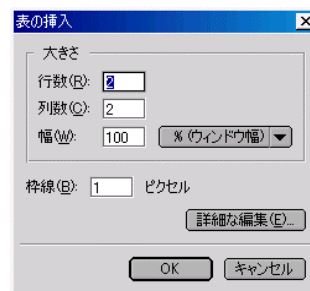
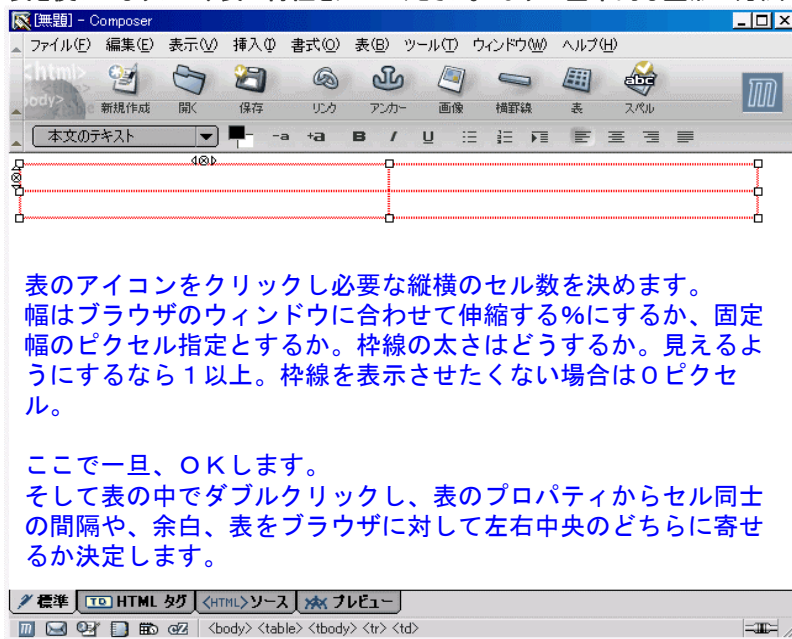
rules 内部罫線表示形式(none:無し/group:--/rows:横のみ/cols:縦のみ/all:全部)

bordercolor 枠線の色(カラーネームまたは#RRGGBB)

background 表の中に背景画像を挿入(ファイル名.拡張子 例: wall.gif) セルにも可能

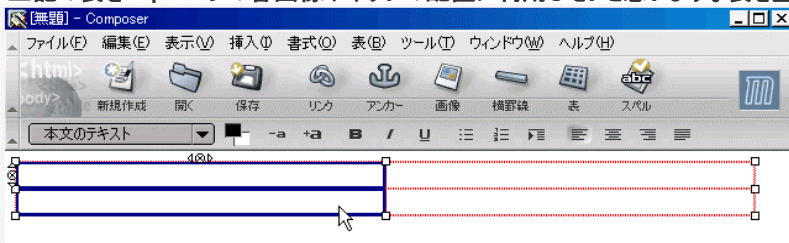
表を使う

表を使いこなすには、表の特性を知ってください。まずは基本的な整形の方法です。

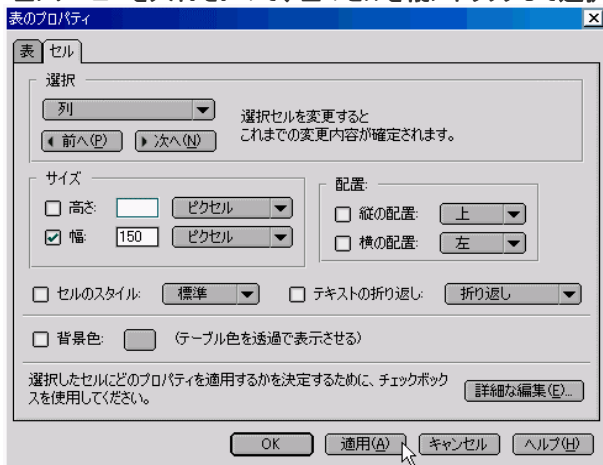


左図は
枠線0ピクセル
間隔0ピクセル
余白0ピクセル
表の幅600ピクセル
左寄せ
2x2
となっています。

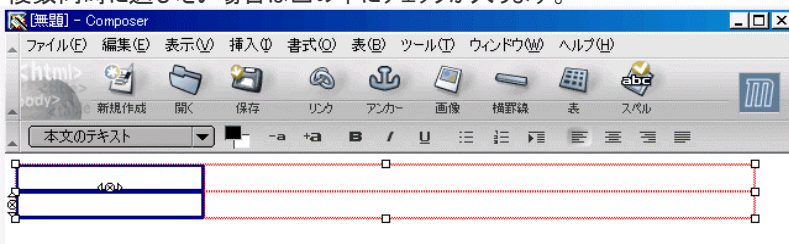
上記の表をTopページの各画像やボタンの配置に利用したいと思います。表を整形します。



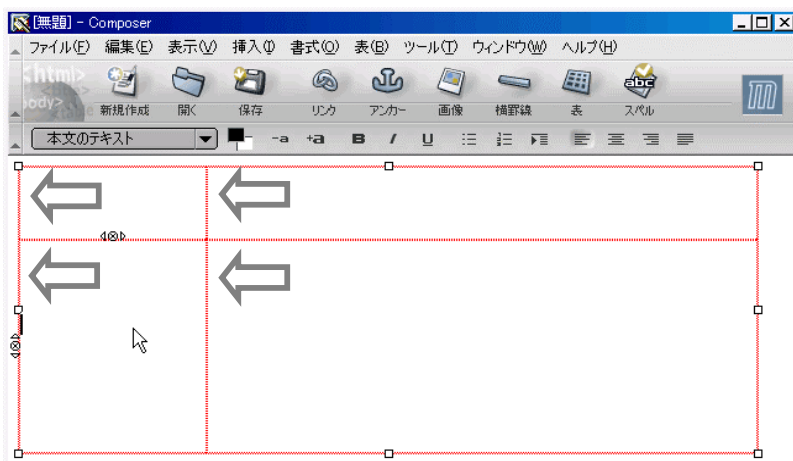
左にメニューを入れたいので、左のセルを縦にドラッグして選択しました。



左側のセル1列の幅を150ピクセルに指定し、適用。またはOKで選択したセルの横幅が変わります。
複数同時に選びたい場合は口の中にチェックが入ります。



幅600ピクセルの表の左側のセル1列が150ピクセルになりました。
この左側のセルの中にテキスト(文字)または、画像にリンクを施してボタンにしたいと思います。
また、画面横幅いっぱい表を確保する100%などとした場合でも、実際の表の幅以内であればその内のセルを好きな分だけピクセル指定する事も可能です。例えば100%の横幅の表の縦一列のセルの幅を200ピクセルに指定する事もできます。つまり、表の幅を%で決めても、常識的な数値内でその中のセルの横幅を指定できます。
一般的な画面の横幅を1024ピクセル(XGA)としても、幅100%を指定し、そのサイズ内であれば列単位で何列でも指定できます。
但し、SVGA(横幅800ピクセル)なパソコンの人も居るでしょうから、その辺はどちらでも良いようにしておくのが礼儀かも知れません。

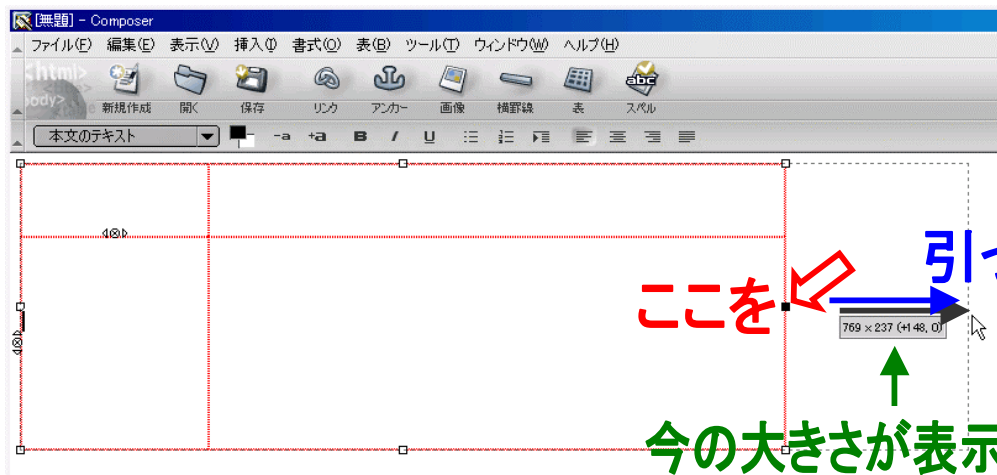


← の部分は、改行できます。
必要に応じて押し広げてください。

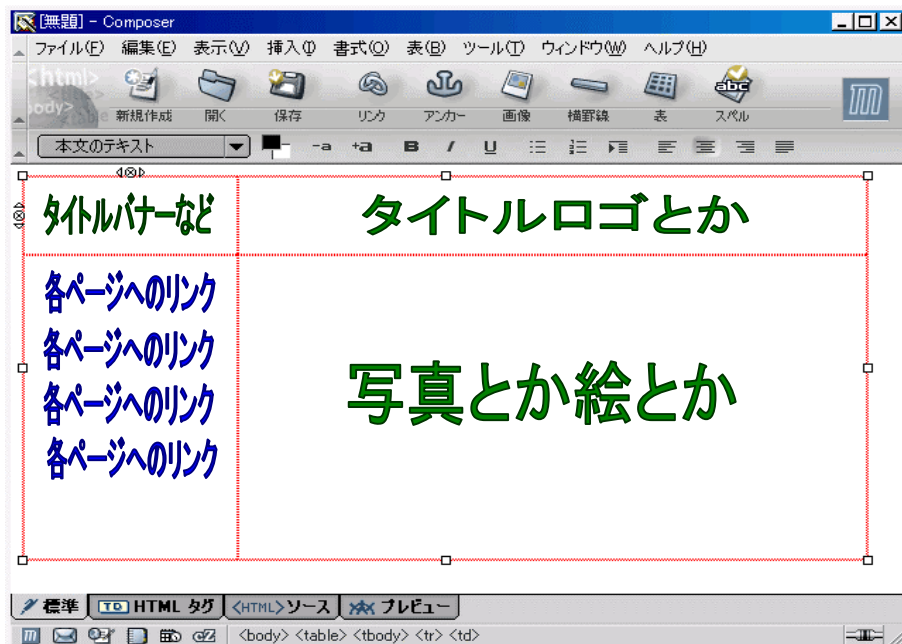
必要の無い改行は

Delete または BackSpaceにて
削除します。

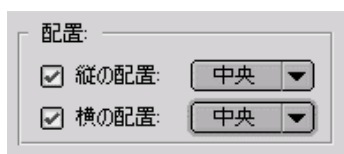
また、必要に応じて、プロパティを開かずに、枠線の間と角をマウスで掴んで引っ張れば、表も広げる事ができます。



マウスを使って大まかな操作も可能ですが、キッチリ作りたい人は後で数値をキリの良いものに打ち替えておきましょう。

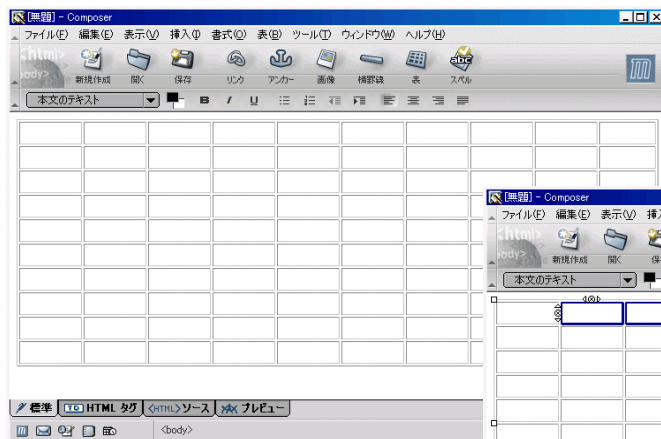


後は必要に応じて画像なり、テキストなどを利用して表のセルに挿入していけば、綺麗に並べる事ができます。
各、セルの真中に画像やテキストを並べたい場合は、表全体をドラッグしてから、セルのタブで中央揃えとすれば
テキスト、画像問わず、中央に配置することができます。 その際はチェックをお忘れなく。

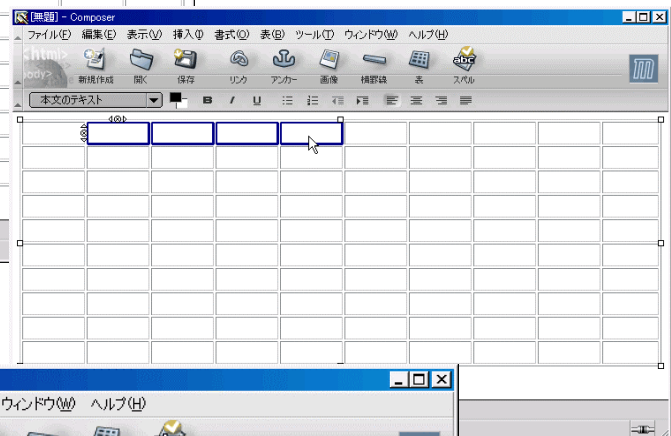


今回は枠線をO'p'クセルにて指定しましたので、ブラウザで見ると赤く表示されている枠線は消えます。

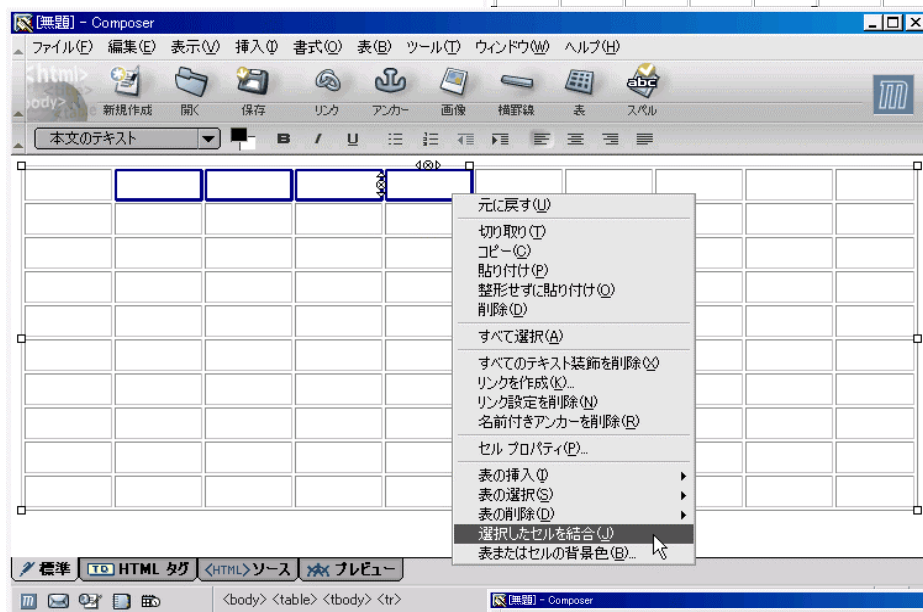
セルを結合する



必要な数で縦横のセル数を入力して表を作ります。



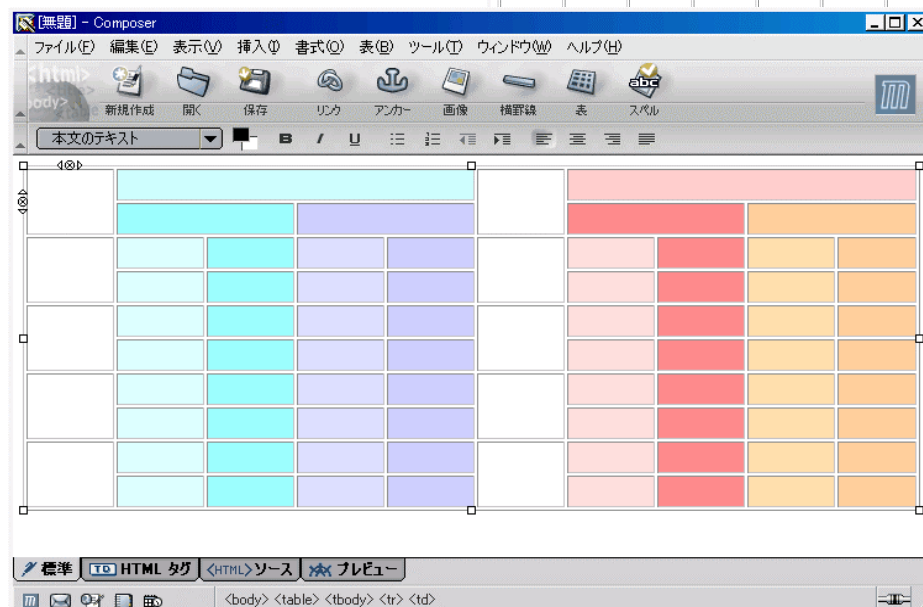
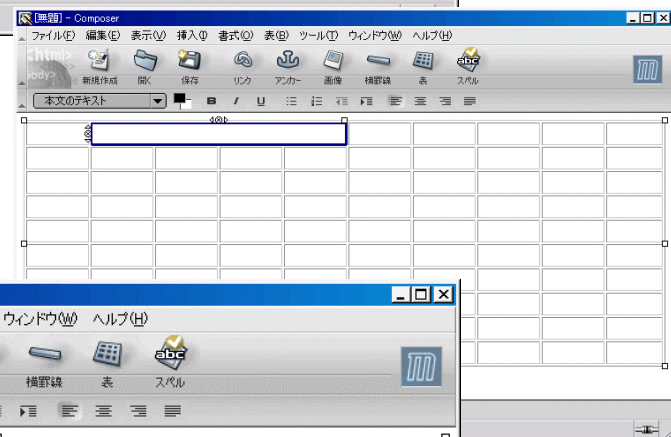
結合したい部分をドラッグします。



右クリックで

「選択したセルを結合」を選びます。

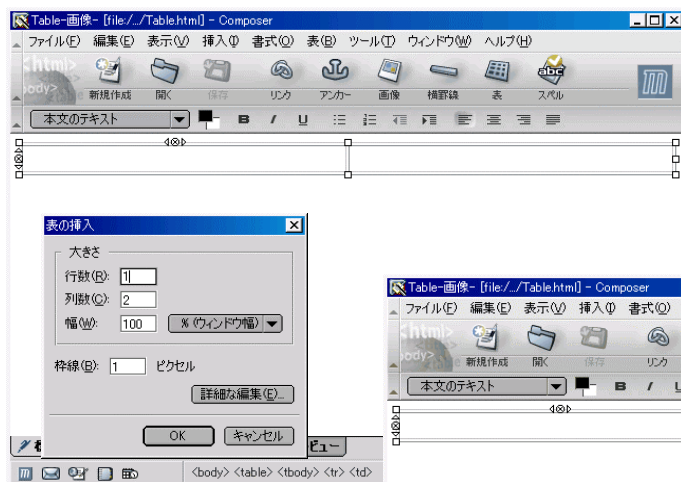
セルが結合されました。



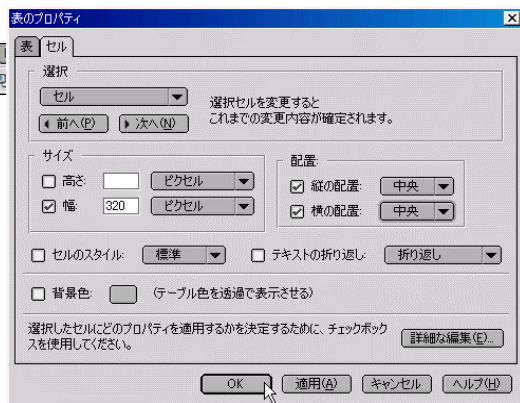
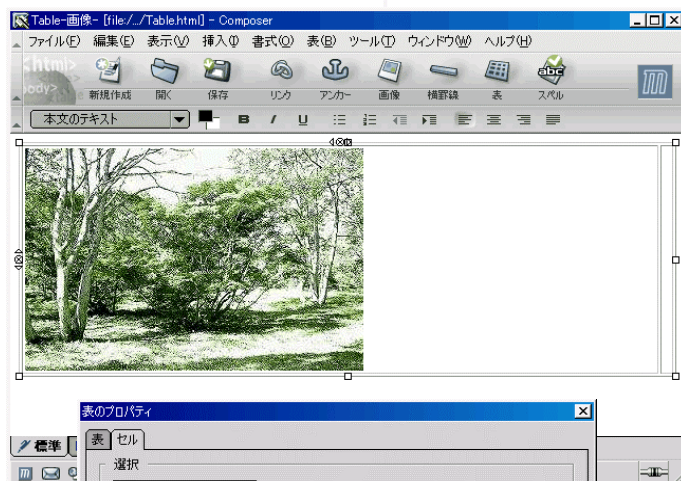
この手順でセルを結合して行きます。

表の内容に応じて、背景色を指定すると見え方が良くなります。

セルのサイズ変更と表の中の配置

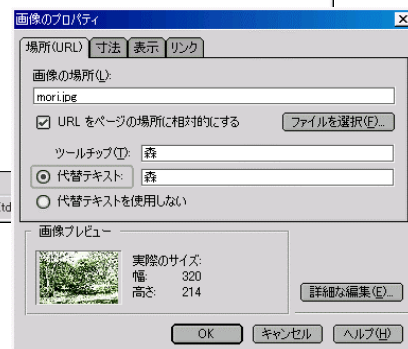
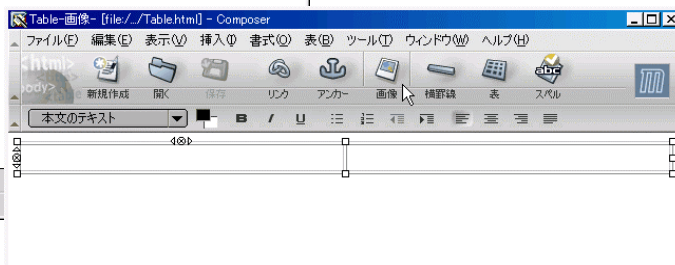


行数1×列数2で表を作りました。



表を使い、写真の説明を使った様式を作りたいと思います。

表は横いっぱいに合わせて100%を使いました。写真の入るセルは写真の幅に合わせてしたいと思います。編集方法を説明しましょう。



表の左側のセルに画像を挿入します。画像を選択したらプレビューの横に画像のサイズが出ます。

幅320ピクセル×高さ214ピクセルでした。覚えておいてください。

写真を入れたらセルが広がってしまいました。

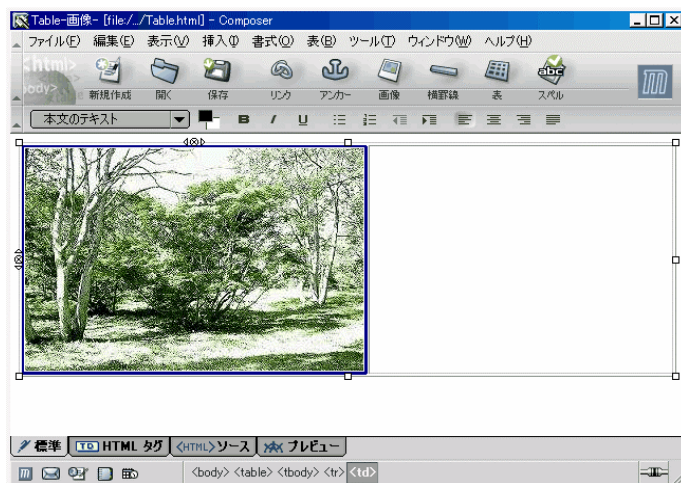
写真の入っているセルのプロパティを開きます。(セルのタブが開きます)

「サイズ」の横幅を先ほどの320 [ピクセル] に指定します。

「配置」でセル内部の写真の表示位置を縦横ともに [中央] に指定しておきます。

※しなくても良いですが、念のため。

[OK] をクリックします。



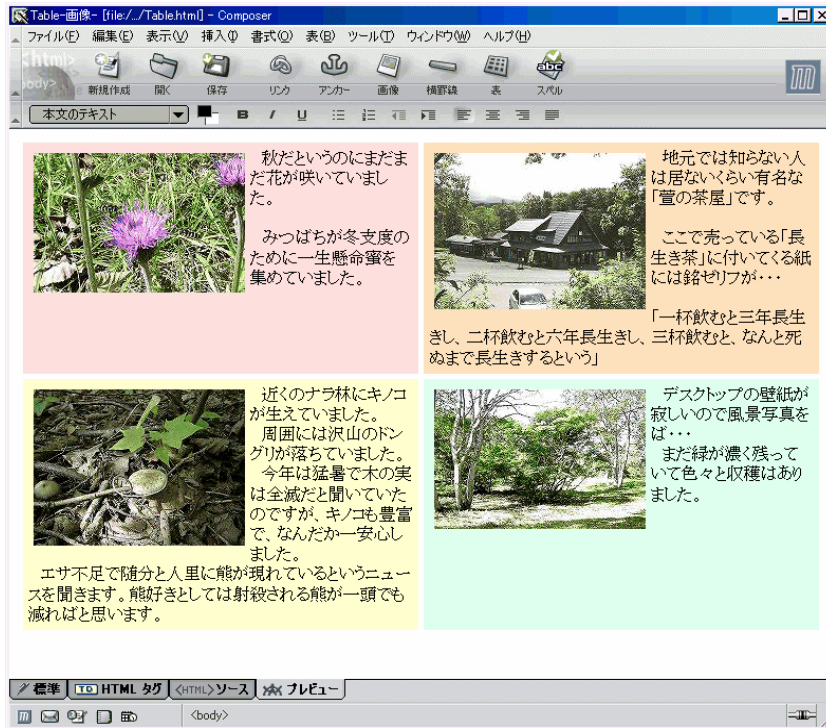
写真の入っているセルが写真にピッタリと収まりました。

右側の空いているセルは写真の説明が入る部分にする部分です。ここにテキストを入力します。

ブラウザの幅に合わせてテキストの入るセルは横いっぱいにならなくなります。閲覧者の画面サイズに依存しません。

説明が長くなる場合、写真側のセルの写真は常にセルの中央に配置されます。常に上に配置したい場合は先ほどのセルの配置で縦の位置を [上] にします。

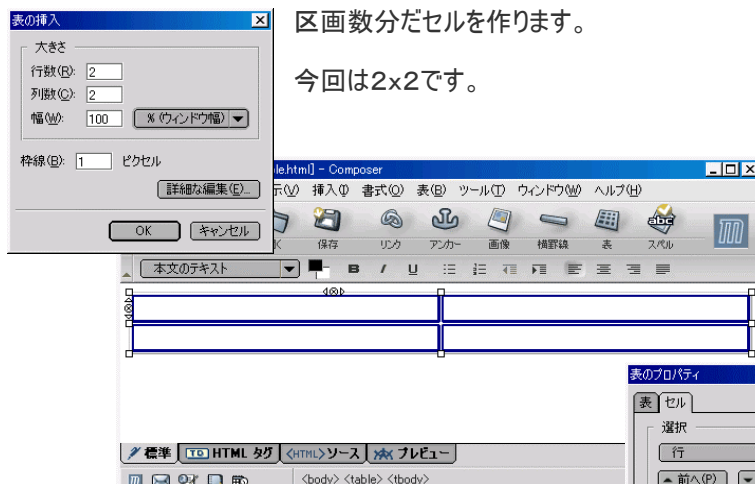
表を使った整形



ちょっとしたアルバムっぽいページを作りたいとします。

左の画面は出来上がりです。
これをどうやって編集したのかを説明したいと思います。

←ここのおでんは素朴で旨いです

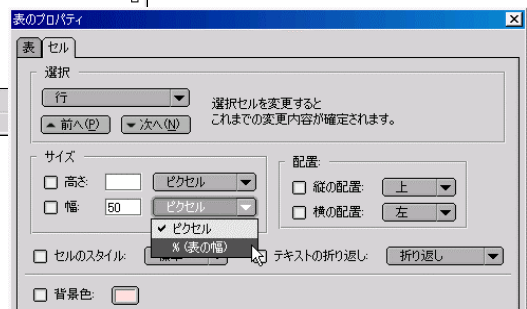


区画数分だけセルを作ります。

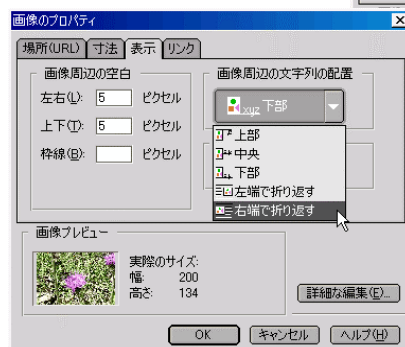
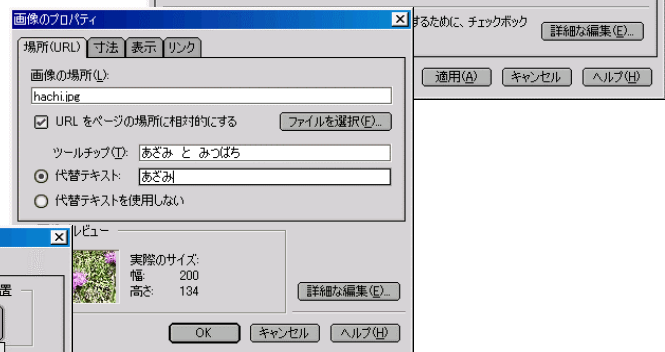
今回は2x2です。

表が挿入されました

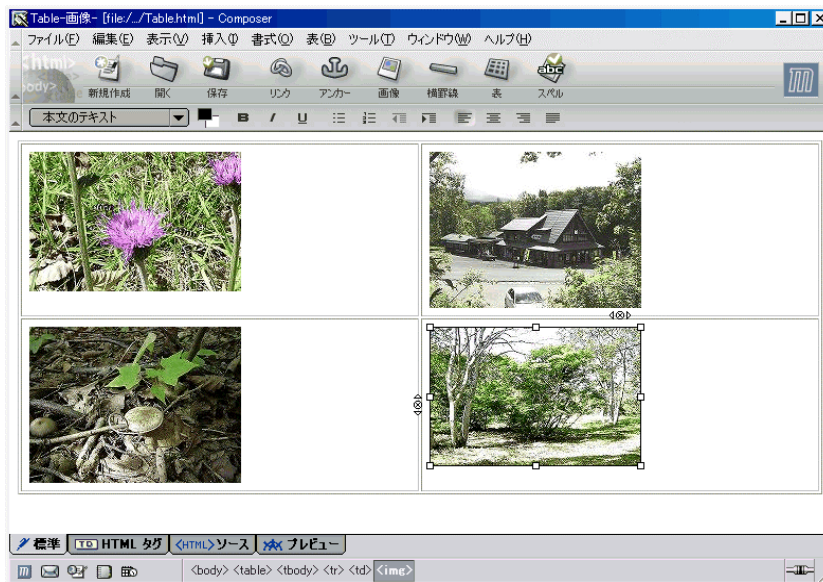
横2区画なら50%。3区画なら33%という感じにしておきます。ここでは2区画なので表全体をドラッグして幅を50%にします。(ピクセルを▼で%に変えます) 配置はこのままで結構です。



画像をセルに挿入します。
画像を選択し、[ツールチップ] (画像にマウスオンした時に表示されるコメントのこと)、[代替テキスト] (画像を読まない設定の方には画像の代わりに代替テキストを表示します。任意です)を入力します。



表示タブを編集します。
写真にテキストがくっつく読みづらいですから、写真の周囲5ピクセルに余白をつくります。[左右]と[上下]に5を入力します。続いて[画像周辺の文字列の配置]を[右端で折り返す]に設定します。これで文字は写真の左側を沿うように回りこみます。

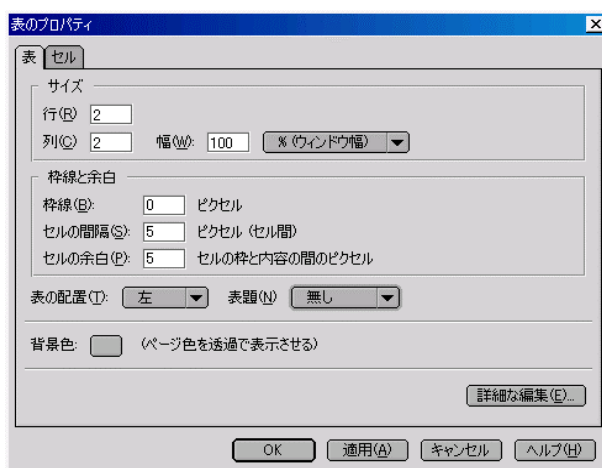


同じようにして各セルに写真を挿入します。

隙間に説明やコメントなどを入力して行きます。



配色したいセルにカーソルを置いて、背景色を指定します。セルのプロパティや、書式ツールバーの背景色からカラーダイアログを表示します。



表の枠線を消します。
[枠線] を0ピクセルにすると枠線が消えます。

セル同士の隙間を作ります
[セルの間隔] を5(任意の数字)にします。

内側に余白を作り、セルの背景色を適用される端から少し文章を内側に配置します。
[セルの余白] を5(任意の数字)にします。

あとは [OK] をクリックしてください。それで26ページ先頭の画像のようなページになります。

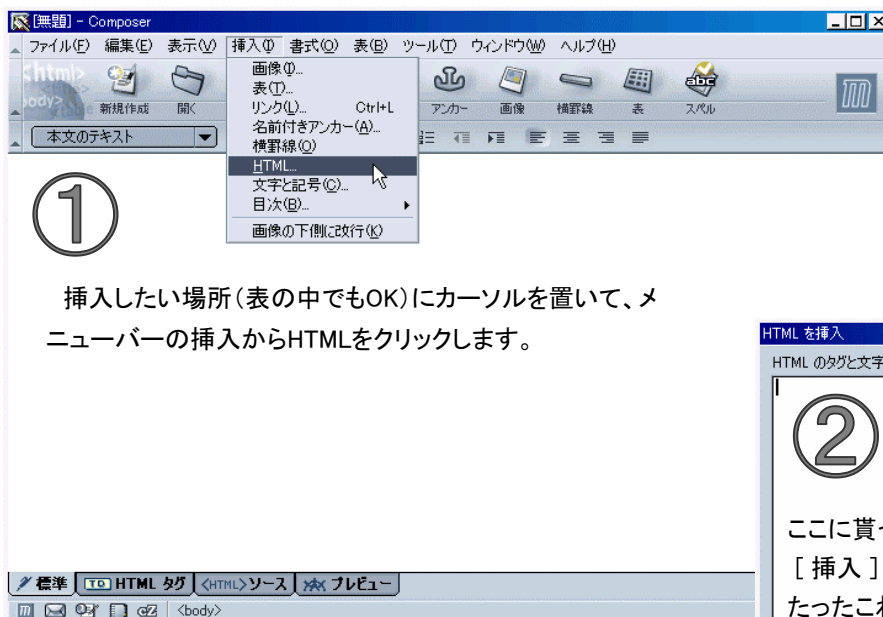
表は非常に使い道が広い機能です。画像をランダムに配置するのには向いていませんが、ある程度の規則性がある表示の場合は、セルを上手く利用してそこに画像やテキストを挿入します。

使い慣れてくると色々な場面で活用できるでしょう。表を使った画像やテキストの配置はCSSを使ったレイヤー(どこでも配置)と違い、どんなブラウザでも同じ表示が可能です。

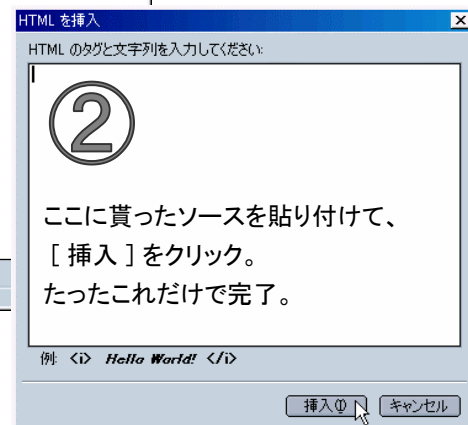
これは最近、Firefoxが世間を騒がせているように、ブラウザはひとつではないという事を前提にしています。IEでもOperaでも、当然、MozillaやFirefox、CaminoやSafariでさえ、表の表現は統一されたものであり、IEの枠線の表現を除いてはピクセルや%で指定した通りに同じレイアウトになります。

ソースの埋め込み(カウンター・解析・ティッカー・WEBリング・アフィリエイト・・・など)

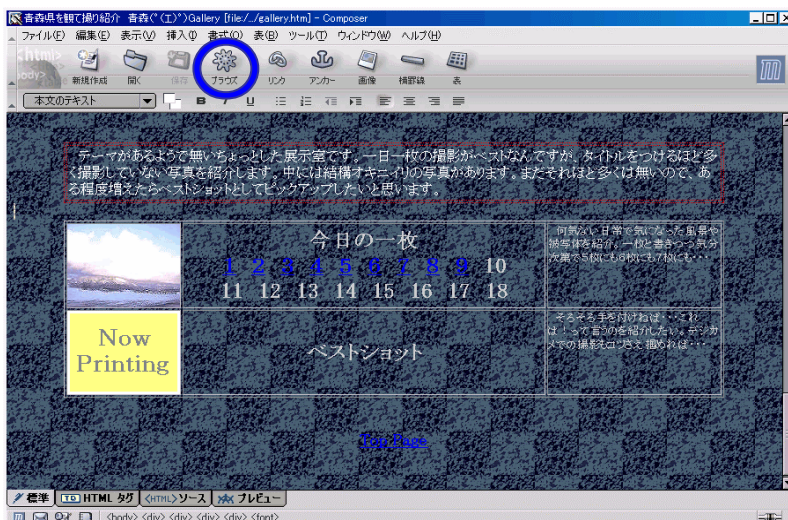
レンタルカウンターやアクセス解析、ニュースティッカー(インフォシーク(楽天))、WEBリングなどをページに貼るにはどうしたらよいか。申し込みした後に、最後に渡されるソースをページに挿入するように説明されたけど、HTMLは分からないという人は以下の方法で。



最近ではレンタルサーバーも安いです。コンビニ決済で年間三千円というものも珍しくありません。ガンガン使いたい人にはソースの埋め込み型の広告など手軽に利用できるものも多いのでこの機能は出番が多いかも知れません。



ページをブラウズする(ブラウザで編集中のページを表示してみる)



ページを編集中はプレビューでもリンクの色は初期値のリンク色です。

アニメーションGIFなどを使用していても静止画像のままです。(バージョンによっては挿入したアニメーションGIFがComposerでもアニメーションする場合があります)

実際に自分が編集中のページをネット上で見ているような状態で確認するにはページをブラウズしましょう。

ブラウズするには一旦保存する必要があります。編集中のページは名前をつけて保存し、再編集のページは上書きしてブラウズをクリックします。

別ウィンドウで Mozilla の Navigator が開いてページを確認できます。

上の画像ではリンク色が標準の青で表示されていますが、下の画像では指定した黄色にリンクの色が変わっているのが分かるでしょう。

